

# 知っていますか SDGs

— 未来のために私たちができること —

最近、さまざまなところで耳にする機会が増えた「SDGs(エス・ディー・ジーズ)」。[Sustainable Development Goals]の略称で、「持続可能な開発目標」と訳されます。なじみのない言葉かもしれませんが、目標を一つ一つ見ていくと、私たちの生活に関係のある、非常に身近なものばかりです。

☎まちづくり推進部まちづくり推進課(まちづくり推進係) ☎0220(22)2147

## SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの達成を目指す国際目標です。これは、世界中の国々が貧困や不平等のない安心して暮らせる社会を目指し、国際機関、政府、行政、企業、学術機関、市民社会、子ども大人も含めた全ての人々が、世界共通で取り組むものです。

地球上の「誰一人取り残さない」社会を実現するため、貧困や飢餓の問題から、環境問題、働きがいや経済成長、ジェンダー平等、気候変動に至るまで、世界が抱える幅広い課題を解決するため17の目標(下の表を参照)が設定されています。SDGsを達成するためには、行政や企業だけでなく、私たち一人一人が自分の事として取り組むことが求められています。



## 私たちができること —日常生活の中で私たちができる取り組み事例—

- ▶「買い過ぎ」「作り過ぎ」を減らし、食べ物に感謝し残さずに食べる。
- ▶電化製品のスイッチはこまめに切り、使用時間を減らす。
- ▶買い物は地元で。地域の企業を支援すれば、雇用が守られる。
- ▶買い物にはマイバッグを。レジ袋は断って、いつもマイバッグを持ち歩くようにする。

SDGsと聞くと難しい印象を持ってしまいかも知れませんが、私たちにできることは意外と身近にあふれています。一人一人がこつこつと取り組んでいくことが、世界のあらゆる課題解決へとつながっていきます。

# 2020・秋 叙勲

## 不断の努力と 永年の功績が認められ



佐藤 正満 さん  
(中田町二ツ木・67歳)

瑞宝双光章(消防功勞)

1973年登米地区消防事務組合に入庁。2010年登米市消防署北出張所長、11年同消防本部警防課長、13年同参事兼警防課長に就任し、

市消防の警防体制の基礎作りにも貢献しました。14年に退職するまで、住民の生命、地域財産の保護、地域防災力の向上に尽力しました。



岩瀬 久一 さん  
(石越町第十二・70歳)

瑞宝単光章(消防功勞)

1971年石越町消防団に入団。2005年登米市石越町消防団副団長、07年登米市消防団副団長、09年同分団長、11年同副団長に就任し、防

火思想の普及、地域防災の確立に貢献しました。15年に退団するまで、住民の生命、地域財産の保護、地域防災力の向上に尽力しました。



伊邊 幸生 さん  
(迫町三方島・64歳)

瑞宝単光章(技能検定功勞)

1974年迫リコーに入社し、37年間機械加工業や機械検査業に従事。宮城県技能検定委員や補佐員を30年以上務め、円滑な試験の実施に寄与す

るなど、業界の技能向上に貢献しました。現在も長年の経験と知識を生かして県内の高等技術専門学校で後進の育成に注力しています。

## いつまでもお元気で

おめでとうございます 祝100歳



山内 昌夫 さん  
(中田町・新田)  
大正9年11月22日生まれ

昌夫さんは16歳のときに志願して海軍に入隊。戦後は農業を営みながら青葉病院(仙台市)で定年まで勤めました。決まった時間にお茶を入れ、食後は口やテープルを拭くなど、几帳面できれいな昌夫さん。

100歳を迎えた今も、毎晩戸締りを確認するのが日課です。長男の順さんは「身の回りのことは手伝いしてもらいながらも自分で頑張っています。これからは元気に過ごしてほしい」と話していました。



佐藤 みつほ さん  
(迫町・山の上)  
大正9年11月6日生まれ

迫町新田で生まれたみつほさんは、20歳で夫正市さんと結婚。長沼で捕れたエビの行商をしながら4人の子どもを育て上げました。現在は特別養護老人ホームに入所。料理が得意なみつほさんは、タケ

ノコの調理や小豆の干し方などを施設職員にアドバイスしています。100歳のお祝い会では「みなさんに祝ってもらい幸せです。これからも健康で元気に過ごしたい」と笑顔で感謝と抱負を述べました。